

令和5年度災害復旧実務研修会を開催しました

県から講師をお迎えし毎年開催しているこの会を、今年度は、会場とWEBを併用しながら開催しました。

期 日 令和5年6月21日（水）
講 師 鳥取県県土整備部技術企画課
係長 木村 拓寛氏

日程等

時 間	項 目
13:30	開 会
13:30 ～ 16:30	災害復旧事業の実務について ・災害復旧事業の基本的事項や令和5年度の制度 変更点 ・設計の留意点 ・事例紹介 ----- 質疑応答
16:30～	閉 会



【 会場(鳥取県建設技術センター)での研修風景 】

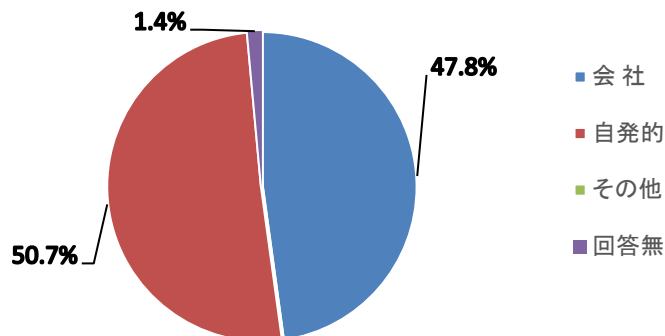
※ アンケート結果は別添のとおり

アンケート結果

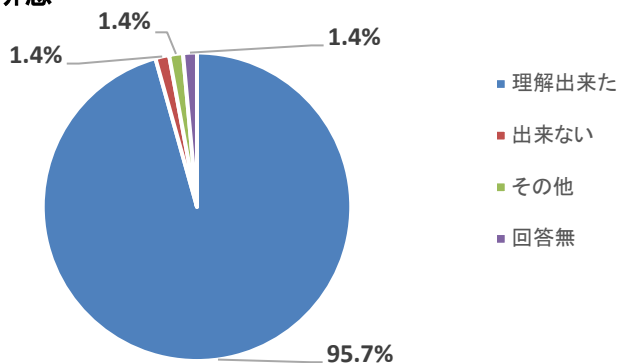
(R5.6.21「令和5年度災害復旧実務研修会」)

	会場受講	Web受講	合計
出席	39	63	102名
回答	33	36	69

1. 参加のきっかけをお知らせください。



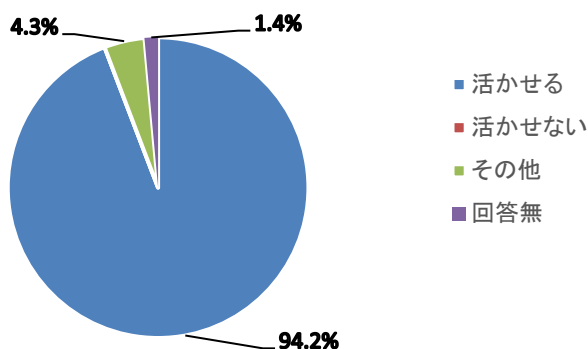
2. 研修会の所感



その他

- ・ある程度は理解出来た。

3. 今回の内容を今後の業務に活かしますか。



その他

- ・専門分野については活かせる
- ・今回の研修のみで完全に理解出来たわけではないので、活かせるかは不明
- ・状況に応じて参考にしたい

4. 今回の研修会について、自由に記載してください。

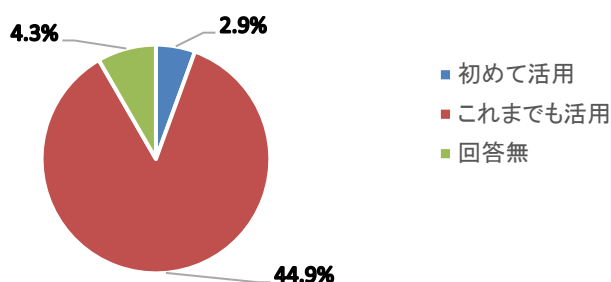
- ・とても聞き易くまた、資料も分かり易く勉強になりました。有難うございました。
- ・とても分かりやすい説明有難うございました。
- ・指摘・改善事項が纏めてあってよかった。
- ・資料の脱字が気になった。
- ・重変の実例が参考になった。
- ・大変分かりやすかった。今後、この資料を基に災害復旧、測量、設計を行っていきたい。
- ・説明がわかりやすく、会計検査時に指摘された内容についての説明があり、今後の業務で活かしたいと思った。

- ・ 質問はしませんでしたでしたが、根固ブロックを選定する際に、3t以上のブロックが必要という結果となった場合、3tの3列より5tの2列が経済性で良いケースでは5tを選定することもあるのでしょうか。(今後のことを考えると、河川全体で統一し、3tを選定する方が良いと思いますが。)
- ・ 資料は、出せるもので説明して欲しい。
- ・ 査定官意見後、纏めの内容を資料にして公開して欲しい。
- ・ 会計検査院の指摘事項等を公表できる範囲内で公表して欲しい。
- ・ 大変有意義な講習会であった。
- ・ 説明資料の一部の図面等に文字の見えない(判別出来ない)ものがあった。
- ・ 重要なものは別途明示していただきたい。
- ・ 災害復旧実務研修は、今後も継続していただきたい。
- ・ 災害対応時に留意すべき有益な情報であり、大変参考になった。
- ・ 具多的事例も踏まえ理解しやすかった。
- ・ 事例があったのが有意義であった。
- ・ 査定での裏話、会計検査に対しての話がよかった。
今後の災害に対して、設計、測量の注意点が理解できた。
重変協議から見えてくる留意点の説明は参考となった。
事例集として、マニュアル化して欲しい。
会計検査では、期間の短い災害業務を注視しているとのことであった。自分が災害業務に携わることがあれば条件設定等注意しながら行っていきたい。
- ・ 実際の会計検査の対応状況・裏話を聴くことができ、大変参考になりました。
- ・ webは受講し易く、良い。
- ・ 資料の事前配布で内容を確認出来るのは良い。
- ・ 講師の説明、声のトーンなど総合的にわかりやすく良い。
- ・ 災害特有の優先事項の事例などとても参考になりました。
- ・ 事例をもとに説明していただきわかりやすかったです。
- ・ 事例が多くわかりやすかった
- ・ 根拠や基準、目的等が示されており分かりやすかった
- ・ 聞き取りやすい音声でした
- ・ 会計検査は災害手帳ではなく、各基準書に準拠した設計方法を重視することがわかった。
- ・ 復旧工法の計画も大事であるが、施工時における工事用道路等の仮設工の計画の重要性が理解できました。
また、査定前に地元の合意が必要であることがわかった。
- ・ 他県の事例も踏まえた内容でしたので、知見を深めることが出来ました。
- ・ 会計検査院の動向や災害査定のD×の取り組み、査定に向けた留意点の説明など、丁寧に解説していただき、たいへんよくわかりました。
- ・ 災害の件は、昨年と同じような内容でわかりやすかったです。
- ・ 会計検査の話は、新鮮な情報で聞けて良かったです。
- ・ 災害査定における指摘・改善事項(R5版)について、具体的な内容が記載されているため、参考になる。
- ・ 前半部分の本年では変更のない箇所については割愛されてもよかったと思います。
後半の実例での講義はわかりやすく参考になりました。
- ・ 前半は発注者側の事象のみの説明で、コンサルタント側としては参考にならなかった。
もっと、実際の事例を取り上げて技術的な問題点を説明してほしい。(後半に少しあり)

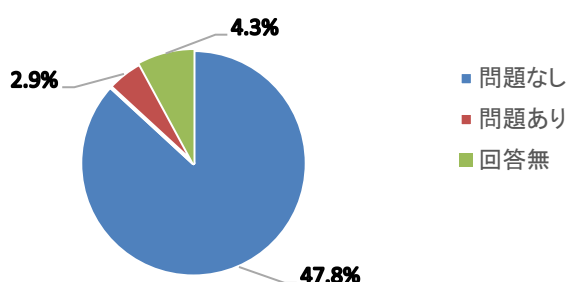
- 資料に留意点が示され、分かり易い説明であった。
- 今回は目新しい話題がありませんでしたが、今年度災害手帳の改訂後の方が変更点・留意事項の具体的なお話を聞けたかもしれません。ただ、7月になってからでは、講習のタイミングとしては遅い気もします。
- 査定のポイントなど参考になった。
- あまり理解していなかった査定について、今回の研修で学ぶことができた。
- 災害業務においては迅速かつ誤測等のない作業を心がけようと思った。
- 講師の方の実体験を交えて話されていて最後まで集中して聞く事ができた。
- 解りやすかった。また、会計検査の指摘等は非常に勉強になった。
- 災害復旧工事は、国の災害査定を待たず、発災直後から実施可能で、原形復旧が原則だが、形状、寸法、材質を変えて従前機能の復旧を図ることが可能だということがわかった。
- 起終点は写真だけでその位置が確認できるよう注意して撮影することが大切だと知った。
- 災害復旧の趣旨が聞いて良かった。普段の業務では価格優先であるが災害復旧が目的。
- 会検時の内容についての講演は、興味深く聞くことができました。今後も普段聞くことができないような内容を、講習に入れて頂けると嬉しいです。
- 講師が、実務を経験または遂行中であり、わかりやすい説明、興味深い内容でした。
- 災害手帳等の基準書の改訂について教えていただきありがとうございました。
- 資料にないものを画面で説明されていましたが、その資料をいただけないでしょうか。
- 近年は災害が少なかったため、研修会で再確認ができた。
- 査定及び会計検査の指摘事項は今後の業務に活かしていきたいと思う。
- 災害手帳より各種基準・指針を重視した場合、コンサル毎で設計根拠が異なり混乱するのではないかと心配です。
- 横断図に崩壊がみられたが現況にないため、重変になった話は参考になりました。
- 今回は指摘事項等、より具体的な事例が取り上げられており参考になった。
- わかりやすい研修会でした。
- このようなweb講習を増やしてほしい。
- 災害におけるDXの活用について、情報をいただけて勉強になった。

5. Webシステムの活用について伺います。

1) 活用について



2) 活用上のトラブル



問題あり

- ・マイクがオンになった受講者がおり、雑音・会話が入って不快であった。
- ・開催者側が上記のマイクをオフにしたタイミングなのか、講師のマイクもオフになるトラブルがあり、少しの間、聞き取れない内容があった。(複数)
- ・会場からの質問内容が、ほぼ聞き取れなかった。(複数)

(3) 今後活用していくうえでの改善点等あればご記入ください。

- ・マイクのオンオフは休憩ごとに確認されてみてはどうでしょうか。
- ・開始前のチャットでの点呼を、画面上でも指示して下さるとわかりやすかったです。
- ・チャットに質問や回答の概要を入力してフォローしてほしい
- ・WEBシステムを使用する場合、PC画面が本会場に映し出される(参加者の顔が会場に映し出される)ことについて、対策をしてほしい。
- ・今後の会場受講とWeb受講の選択ができればありがたいです。
- ・対面講習者が質問される時、Web側にも質問内容が聞こえる様にマイクなどの活用をしていただきたい。
- ・講師は質問内容を復唱した上で回答していく。
- ・講師の音声聞こえない時にWEB 利用者の複数がチャットにより「音声聞こえない」と呼び掛けていたが運営の反応が遅かったと感じます。
- ・今後、現地とリアルタイムで通信接続し、見たい箇所を即座に見せることができるような現地査定も可能と思われる。今後の建設DX推進に期待します

6. 今後、研修会等開催を希望する事項をお聞かせください。

- ・道路、河川の測量設計(実施)に関する新しいこと、今後気を付けて実施すること等。
- ・今回と同等でよい。
- ・会計検査の裏話、事例紹介
- ・災害業務の具体的な事例
- ・測量設計業での建設DXについての事例
- ・三次元発注に関する現実と鳥取県職員のモチベーション。用地・補償の注意点・数量等。
- ・建設コンサルタント向けの施工計画について。特に仮設工の変更が生じるなど施工条件が難しかった
- ・現場の事例を紹介してほしい
- ・災害現場における現場実務の内容についても講習して頂きたい。
- ・DX化に係る現場研修をWEBを活用してできると、遠隔臨場の勉強になり、また、移動時間が不要となるなど、ありがたいです。
- ・測量等の業務で、測量ミスや設計ミスの事例(会計検査の指摘)の説明。
また、優秀な評価を得た業務の事例等を聞ける機会があれば参加したいです。
- ・WEB会議 そのものの利用 方法、注意事項、資料の作成方法等の研修会
- ・3次元データを利用した業務の紹介など事例紹介
- ・最新のICT機器
- ・若手技術者のための研修
- ・発注者にとって問題になるような設計があれば、教えていただきたい。特に設計が、施工時に問題になった点などの講習を希望します。
- ・会計検査の指摘事項とその対応について。物件数を絞って、指摘内容、検査員とのやり取り対応内容等についてある程度詳細な内容の事例報告のような研修を行っていただければ。
- ・災害復旧における設計時の留意点(特に大型ブロックを適用した場合)
- ・4月に新人を対象としたweb研修会
- ・ICT及び3次元測量設計において、様々な講習会があるが鳥取県の現状及び事例にあわせた実用的な講習会があればと思います。
- ・技術講習会において3次元測量設計検討委員会から活動報告の話もあったが、具体的な事例等の詳細を説明いただけたらと思いました。